

本網要の個別項目 (記事中で言及した点は、 太字下線)	「14.5規画」(注1)および習近平談話に見られる対応箇所
<p>①社会主義の現代化に向けた知財制度の構築</p> <p>(四)網羅性を有し綿密に構成され内外に調和のとれた法律体系を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専利法、商標法、著作権法および植物新品種保護条例を改定 ・地理的表示、意匠権などの特別法の制定を模索 ・地理的表示保護に関する特別保護と商標保護を連携させた統一的な制度を整備 ・集積回路配置デザインに関する法規を整備 ・営業秘密保護強化に関する法律法規を制定・改定 ・知財権乱用行為を規制する法制度および知財に関連する独禁、不競法などの分野の立法を充実化 ・科技進歩法を修正 ・知財権の裁判法則に適合する特別手続法の確立と整備検討 ・ビッグデータ、人工知能(AI)、遺伝子工学など、新分野・新業態に関する知財立法を加速化 ・保護客体の範囲を適時に拡大 ・権利侵害に対する懲罰的賠償制度を全面的に確立・実施 <p>(五)職責が統一され科学的・規範的で優れたサービスを備えた管理体制を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の知財戦略を制定・実施、知財強省・知財強市の建設を深化 ・一流の専利商標審査機関建設プロジェクトを実施、審査の品質・効率を向上 <p>(六)公平公正で科学的な評価をする政策体系を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権の権益配分メカニズムを整備 ・保護強化を方向性とする専利商標審査政策整備 ・著作権登録制度、ネットワーク保護、取引規則整備 ・知財権政策の合法性と公正競争に関する健全な審査制度を確立 ・知財権に関する公共政策の評価メカニズム確立 <p>(七)新興分野等に対応し、合理的保護を図るための知的財産制度を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット分野の知財権保護制度の整備を模索 ・データに関する知財権保護規則の確立を検討 ・オープンソースの知財権と法律体系を整備 ・アルゴリズム、ビジネス方法、AIによる産出物の知財権保護規則の整備を検討 ・遺伝資源、伝統的知識、民間文芸などの入手と恩恵共有制度の構築を強化、無形文化財の収集、整理および実用化を強化 ・中医薬に関連する伝統的知識の保護と近代知財度の効果的な連動を推進、中医薬に関わる知財総合保護体系を一層充実化、中医薬専利の特別審査と保護メカニズムを確立 <p>②国際的に一流のビジネス環境醸成を支える知財保護体系の構築</p> <p>(八)公正・効率的で管轄が科学的で権利の境界が明確で体系の整った司法保護体制を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテリジェント法院(智慧法院)の構築 ・民事、刑事、行政事件の「三位一体」裁判体制の改革推進、事件審理専門化、管轄集中化および手続き集約化の裁判体系構築 ・知財裁判官の専門的な訓練と職業化選抜を強化し、技術調査官チームの養成を強化 ・地域横断的知財権遠隔訴訟プラットフォームの構築を推進 ・知財権の司法裁判基準と法律適用を統一させ、裁判規則を整備 ・知財権犯罪捜査業務制度を整備、検察、監督メカニズムの構築を強化 <p>(九)便利で効率的、厳格で公正、オープンで透明な行政保護体系を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統一的・協調的な法執行基準、証拠規則と事例指導制度を確立 ・行政保護技術調査官制度の確立を模索 ・知財権行政法執行監督管理プラットフォーム構築 ・知財権侵害紛争の検査、鑑定業務体系を確立 ・専利権侵害紛争の行政裁定制度に注力 ・当事者の申請による知財紛争行政調停調書の司法確認制度を模索 ・対外貿易知財権保護調査メカニズムを確立 ・知財権の税関保護を強化し、国際的な知財権法執行の協力を推進 <p>(十)統一的指導の下、スムーズな連動、迅速で効率的な協調保護構造を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関と司法機関の職責権限と管轄範囲を明確にし、知財権の行政保護と司法保護の連携メカニズムを整備し、保護のための協力を醸成 ・知財権仲裁、調停、公証、鑑定および権利擁護支援体系を確立 ・知財信用監督管理体系を整備し、知財信用監督管理メカニズムとプラットフォームの構築を強化し、法令に基づいて知財分野における深刻な信用失墜行為に対する懲戒を実施 ・著作権集中管理制度を整備し、著作権集中管理組織に対する支援と監督管理を強化 ・知財保護センターネットワークと海外知財紛争応対指導センターネットワークを構築、海外知財警報・権利擁護支援情報プラットフォームを構築整備 	<p>「14.5規画」(注1)および習近平談話に見られる対応箇所</p> <p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財侵害に対する懲罰的賠償制度を改善し、損害賠償の強度を向上 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的表示や営業秘密などの分野の立法を強化 ・専利法、商標法、著作権法、独占禁止法、科技進歩法などの改正業務を総合的に推進し、法律間の一致性を強化 ・知財侵害の懲罰的賠償制度を速やかに実施 ・知財乱用関連制度の検討・策定を行うべき ・知財の反独占、公正競争に関する法律法規と政策措置を完備し正当で有力な制約手段を形成 ・ビッグデータ、AI、遺伝子技術など、新分野・新業態の知財保護制度を健全化 <p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専利資金補助奨励政策や評価・査定メカニズムを最適化 <p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新分野や新産業における知財に関する立法を加速 ・オープンソースの知財権法制度を改善 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化、伝統知識などの分野の保護方法を適時に研究・制定 <p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財司法保護・行政執行強化 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財裁判分野の改革とイノベーションを深化させ、知財訴訟制度を健全化し、技術類の知財裁判を完備 ・民事司法保護を強化し、知財事件の法律に準拠した訴訟規範を研究・制定 ・知財裁判の質と効率を高め、信頼性を向上 ・刑法と司法解釈を改善し、刑事による打撃を強化 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政法執行の強化を行い、権利侵害と偽造が多発している重点分野に対して徹底的に攻撃、是正、抑止 ・国境を越えた司法協力の手配を完備 <p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲裁、調停、公証、権利保護支援のシステム強化 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財行政法執行基準と司法裁判基準の統一を促進し、行政法執行と司法の連携メカニズムを改善 ・中国企業の海外知財権に対する権利保護に対する援助を拡大 ・知財保護のための自己規律メカニズムの確立を奨励、信用システムの確立を促進 ・効率的な国際知財リスクの早期警報と応急メカニズムを形成

<p>③革新的な発展を奨励する知財市場の運営体制の構築</p>	
<p>(十一) 企業を主体とし、市場を指向とする質の高い創造体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権審査評価体制を改革・整備 ・市場主体が専利、商標、版權など複数の種類の知財の結合効果を発揮し、高い知財権競争力を持つ一連の世界一流企業を育成するよう誘導 ・中小企業を対象に知財権戦略推進プロジェクトを綿密に実施 ・国家科学技術計画プロジェクトの知財権管理を最適化 ・優良な植物新品種の育成を加速し、登録品種の品質を高める 	
<p>(十二) 効率的かつ順調に実行され、価値が十分に実現される運用体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専利集約型産業の育成を強化し、専利集約型産業調査体制を構築 ・地域発展、政府が投資する重大な経済・科学技術プロジェクト、戦略的新興産業、未来産業の発展における専利導航(ナビゲーション)の役割を積極的に発揮 ・国有知財権の帰属と権益配分体制を改革し、科学研究機関や高等教育機関の知財権の処理における自主権を拡大 ・財政的に資金援助される科学研究プロジェクトの知財権形成のための声明制度を構築・整備 ・知財権取引価格統計発表体制を構築 ・商標ブランドの構築を推進し、馳名商標の保護を強化、産業クラスター・地域ブランド育成 ・地理的表示と産業発展、農村振興などの融合推進 ・企業、高等教育機関、科学研究機構による知財権管理体系の整備を推進 ・高等教育機関、科学研究機構による専門化した知財権移転・転化機構の設立を奨励 	<p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高価値専利を保護奨励、専利集約型の産業を育成 ・国有知財権の帰属と権利・利益の分配のメカニズム改革、科研機関や高等教育機関の知財権処理における自主権拡大 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権の評価体系を健全化し、知財の帰属制度を改正
<p>(十三) 規範的で秩序のある、活力に満ちた市場化運営体制を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権の資産評価、取引、転化、供託、投資・融資などの付加価値サービスの展開を支持 ・総合的知財運営サービスプラットフォーム構築 ・国際化・市場化・専門化した知財サービス機構育成 ・知財権サービス業(代理、法律、情報、コンサルティングなど)の格付分類評価を展開 ・無形資産評価制度を整備し、奨励と監督管理の調和がとれた管理体制を形成 ・知財金融を積極的かつ「穏当に」発展 ・知財権の質権設定情報プラットフォーム整備、各種の知財権の混合質権設定と保険の展開を奨励 ・著作権取引・サービスプラットフォームを整備、著作物資産評価、登録認証、質権設定融資などのサービス強化 	<p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションに対する金融支援制度改善、金融機関に知財担保融資や科技保険などの科技金融商品の開発奨励 ・無形資産評価制度を改善、インセンティブと監督を調整する管理メカニズム形成
<p>④大衆にとって利便性のある知財公共サービス体系の構築</p>	
<p>(十四) 包括的でサービスが規範化されスマートで効率的な公共サービスの提供強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家知財ビッグデータセンターおよび公共サービスプラットフォームを整備、各種の知財権基礎情報の公開の深さと幅を拡大し、経済、科学技術、金融、法律などの情報との共有・融合を実現 ・新技術を十分に利用してインテリジェント化した専利・商標審査管理システムを構築し、審査プロセスを最適化 ・専門的で便利な知財権公共コンサルティングサービスを強化し、中小企業とスタートアップ企業の知財権公共サービス体制を整備 	<p>【14.5規画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財保護・活用公共サービスプラットフォーム構築 <p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家知財ビッグデータセンターと公共サービスプラットフォームを構築 ・AI、ビッグデータなどの情報技術の知財権の審査・保護分野における応用を強化
<p>(十五) 公共サービスの標準化、規範化、ネットワーク化の建設を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権公共サービス内容のリストとサービス基準を制定 ・情報技術の効果的な利用、オンライン・オフライン手法の総合的な運用を通じた知財権公共サービスの効率向上 	<p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインとオフラインの知財保護の統合開発を促進
<p>(十六) データを標準化し、資源を統合し、効率的に利用される情報サービスモデルを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権データ標準の制定とデータ資源の供給を強化し、市場化・社会化した情報加工・サービス体制を構築 ・知財権データ取引市場を規範化 ・知財権情報の公開・共有を推進 ・データ公開とデータプライバシー保護の関係を十分に処理 ・国際知財権データ交換を強化 	<p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権の情報化、インテリジェント・インフラの建設を強化
<p>⑤知財権の質の高い発展を促す人文社会環境の醸成</p>	
<p>(十七) 「知識尊重、革新提唱、誠実順法、公平競争」という知財権文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の知財権を自覚的に尊重・保護する行動習慣を育成し、権利侵害・模倣行為を自覚的に制止 	<p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財保護の広報と教育を強化し、知財を尊重し保護するための社会全体の意識を高める
<p>(十八) 内容が新規で形態が多様化し融合発展する知財権文化伝達マトリックスを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア、ショートビデオなどの新しいメディアチャンネルを拡大 ・国内外をカバーするオールメディア伝達パターンを形成、知財権宣伝ブランドを創出 ・国家知財権ハイエンドシンクタンクを大々的に発展させ、理論と政策研究を深化させ、国際的な学術交流を強化 	

<p>(十九)より開放的で、より積極的で、より活力のある知財権人材発展環境を醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関が知財権の一級学科を設立するよう支持 ・知財権専門職学位の設置を推進 ・国家知財権人材育成基地を配置、関連高等教育機関の二級知財学院の建設強化 ・小中高校の知財権教育をさらに推進し、青少年の知財権意識を継続的に向上 	
<p>⑥知財のグローバルガバナンスへの参加の促進</p>	
<p>(二十)知財権グローバルガバナンス体系の改革と建設に積極的に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財分野の対外開放を拡大 ・知財および関連国際貿易、国際投資などの国際規則や標準の整備を推進 ・経済貿易に関連する多国間・二国間知財対外交渉を積極的に推進 ・知財に関わる渉外リスク予防・抑制体系を構築 ・各国の知財権審査機構との連携を強化し、審査情報の共有を推進 ・国際知財訴訟の選択優先地をつくり上げる ・知財仲裁の国際化レベルを引き上げる ・ハイレベルの外国機構が中国で知財サービスを展開するよう奨励 	<p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全世界の知財ガバナンス体制のさらに公正で合理的な方向への発展を推進 ・知財権および関連する国際貿易、国際投資などの国際規則と標準の完備を推進 ・知財の対外リスクの防止制御体系を建設 ・中国の知財に関する法律規定の域外適用を推進
<p>(二十一)多国間・二国間の調整・連携された国際協力網を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連、世界貿易機関などの国際的な枠組みや多国間体制における協力を強化 ・「一帯一路」共同建設の国・地域の知財権に係る実務協力の深化 ・知財権に関わる国際交流における非政府組織の役割を積極的に発揮 ・専利と国際標準の制定との効果的な結合を推進 ・地理的表示の相互認証・相互保護を推進 ・中国商標ブランドと地理的表示製品のグローバルプロモーションを強化 	<p>【習近平談話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WIPOの枠組みにおける全世界の知財権の管理に深く参画 ・「一帯一路」をともに建設する沿線の国・地域と知財協力を深め、知識の共有を促進 ・知財権の国際世論に影響する道筋と方法を開拓
<p>本綱要にない習近平談話のポイント</p> <p>知財分野の国家安全を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財権の対外移転は全体的な国家安全観を堅持 ・国家安全に関わる核心技術の自主的な研究開発と保護を強化 ・法律に基づいて国家安全に関わる知財の対外移転行為を管理 	

注1：「第14次5カ年（2021～2025年）規画と2035年までの長期目標綱要」について、本表では「14.5規画」と表記した。

注2：カッコ漢数字は、本綱要本文に振られた通し番号。

出所：知識産権強国建設綱要（2021～2035年）および各政策文書を基にジェトロ作成